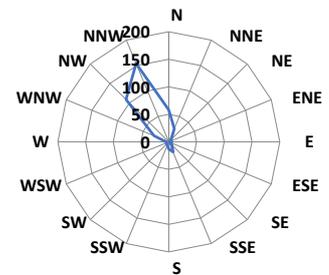
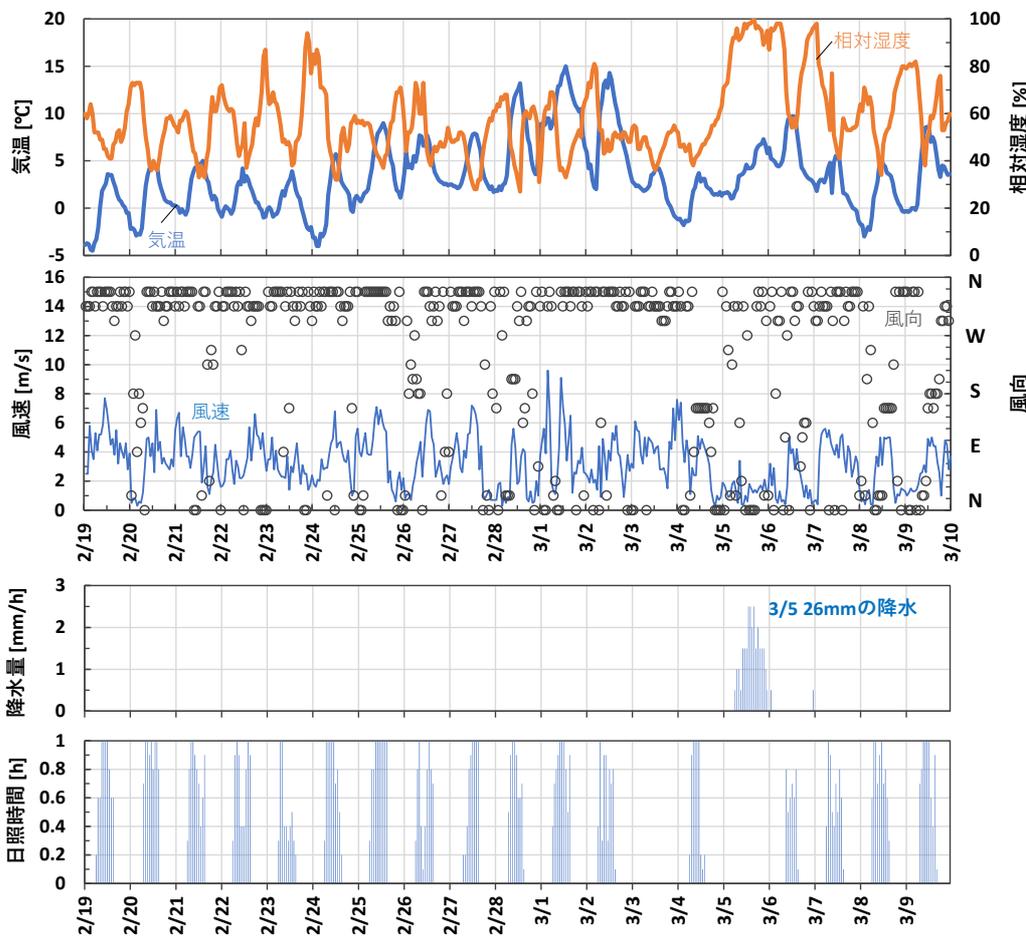


# 令和7年大船渡市火災 気象・植栽に関する調査（速報）

2025年4月8日  
平山由佳理・久田嘉章  
村上正浩・岡本毬椰  
(工学院大学・建築学部)

## ■ アメダス大船渡の気象データ



2025年2月19日～3月9日の風配図

- ・ 3月4日までの過去30日間の降水量は2.5mm（平年比5%）と記録的に少ないことが公表されているが、2月19日～3月9日の期間は連続して日中の相対湿度が40%を切るほど乾燥していた。
- ・ 風速が日中6m/sを超える条件も連続した。  
この時の風向はほぼ北北西～北西。
- ・ 今後も乾燥し風が強くなるこの時期に火災の危険が高まるとすると、**北北西～北西からの強風による延焼**に対する対策が特に重要になると考えられる。

# ■ 大船渡の延焼範囲と植生図

- ・山の南東側斜面にスギの植林地が多い。
- ・綾里（立石山）の南側～西側はアカマツの植林地が多い。
- ・内陸に二次林としてのコナラ群落の植生が残る。



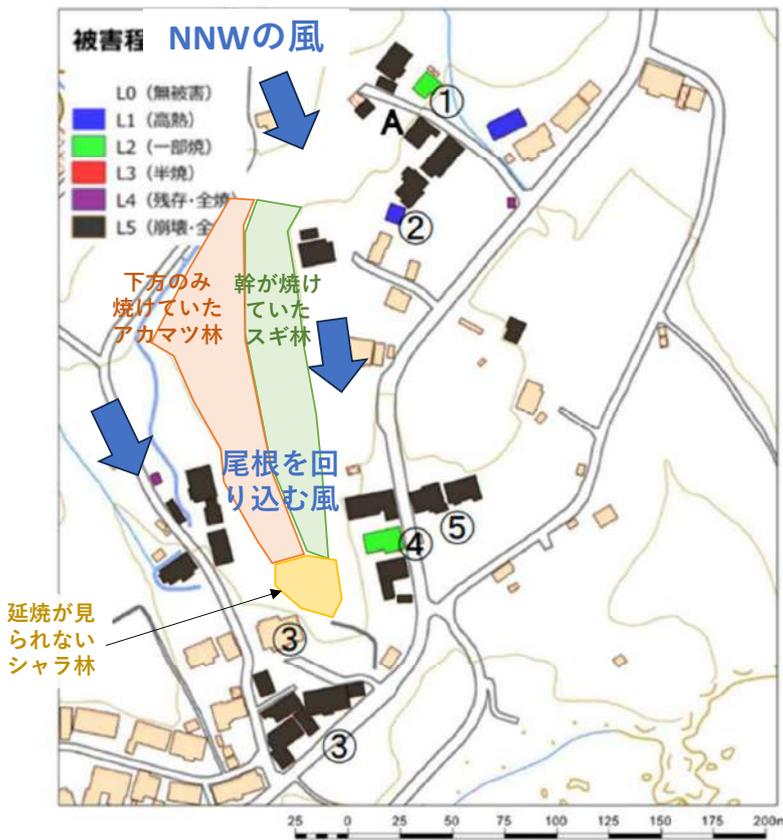
環境ジオポータル [https://geoportal.env.go.jp/datasets/f0e19b8d04e542c093af5b0b41e94c01\\_1/explore?location=39.061348%2C141.683097%2C-1.00](https://geoportal.env.go.jp/datasets/f0e19b8d04e542c093af5b0b41e94c01_1/explore?location=39.061348%2C141.683097%2C-1.00)より

## 赤崎町外口地区における調査地



調査日：2015年3月24日

# 外口地区の火災被害調査(暫定版:計45棟)



外口地区の火災被害程度(注:暫定版)



A 多数の飛び火跡を確認



B 消火活動のために切り倒された樹木

## ■ 気仙沼～大船渡のスギ人工林



BRT沿いで見られた光景から  
スギは細く植栽密度が高く、間伐や下草の除去  
が行われていない様子がわかる

## ■ 延焼した山の様子（尾根）



東側  
スギ林

南側  
シャラ

西側  
アカマツ林+  
尾根にシャラ



細くても燃えていないシャラ

## ■ スギ林と住宅地が近接



スギ林と住宅地の距離が近い



麓のスギのみ燃えている

## ■ スギ、アカマツ、シャラの燃え跡



心材まで燃えたスギ



枯死木／病害であっ  
たと思われるスギ



アカマツは2m程度の高さまで延焼



スギの根



スギの根元



シャラの根元

スギの根や心材が炭化していた様子が多く見られたことから、スギの根張り（板根）の部分から火が侵入した可能性が考えられる（推察）

## ■ 延焼防止効果が期待できる造園樹種



マサキ (宅地側)



マサキ (道路側)

全焼した宅地のマサキは宅地側と上部が焼けているが、道路側は持ち応え、延焼防止効果が期待できる



カイツカイブキ

飛び火により道路側から着火したと推察されるが、延焼は防いでいる



レッドロビン



ヤブツバキ

綾里小路より (久田先生撮影)

耐火性のある造園樹種は、飛び火に対する効果は期待できなくても、厚みのある樹冠は隣棟への高熱被害の低減効果は期待できると考えられる